

1.動作概要

ユーザーブートモードを用いてFlashの書き換えを行います。

2.ボード設定方法

評価ボードの以下を結線します。

CN5 1-2 3-4 CN9 1-2 3-4 5-6 7-8

3.基本動作

LED表示パターンの異なるデータテーブルA,Bを準備します。  
始めにメインプログラムが起動し、データテーブル（データA）のLED表示パターンを実行します。  
SWを押すことで、書き込み処理、データA、B本体をRAMへ保存します。  
データA、BのFlashエリアを消去します。  
RAMへ保存したデータBをデータAのFlashエリアへ書き込み、RAMへ保存したデータAをデータBのFlashエリアへ書き込みます。  
メインプログラムからデータテーブル（データB）のLED表示パターンを実行します。  
以降同様の処理を繰り返し、データA,Bを交互に書き換えます。  
メインプログラムの動作状態はUARTを経由して表示します。

4.使用リソース（名称は全て基板上のシルク印刷名、かっこはポート名）

評価ボード	TMPM4G9F15 Evaluation Board		
SW	S7 （PV1）		
LED	D8,D10を一秒周期で点		LED点滅パターンA
	D7,D9を1秒周期で点滅		LED点滅パターン
動作状態表示	CN17 （PE2 PE3）	UART-USB	115200bps, 8bit, パリティなし, ストップbit1, フロー制御なし

## 5.動作状態表示例

データA実行時

Excecute Data A

データB実行時

Excecute Data B

SW入力待ち

Please press the S7

RAM展開時

RAM transferring

消去時

Erasing

書き込み時

Rewriting

書き込み完了時

Finished

メモリマップイメージ

